

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 387

事務事業名	中小企業創業等資金融資事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	商工振興課		
課長名	高取 和也	内線	240
担当者名	池田 有希	内線	249

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040202	活力ある商工業の振興
施策		商工業経営基盤の強化と創業支援
関連施策		

会計	一般会計		
款	7	商工費	
項	1	商工費	
目	2	商工業振興費	
事業コード	030300	中小企業創業等資金融資事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	商工会議所の指導及び推薦を受け、市内で創業しようとする者、又は創業後1年未満の者		
意図	市が低利融資制度を創設し、活用してもらうことで、市内の创业者の資金調達を支援する。		
事業概要	大村市内で創業する、又は創業後1年未満の中小企業创业者に対して融資を行う。 ・融資の種類 運転資金及び設備資金 ・融資限度額 1,000万円 ・償還期間 運転資金:7年以内(うち据置期間1年) 設備資金:10年以内(うち据置期間1年) ・融資利率 年利率1.50% ・信用保証料 全額市で負担する。 ※ 融資の申し込みは大村商工会議所 ※ 融資の取り扱い金融機関:親和銀行・十八銀行・長崎銀行・九州ひぜん信用金庫・たちばな信用金庫の大村市内各支店		
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 年度	実施方法	貸付
根拠法令、要綱等	大村市中小企業創業資金融資制度要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 新規融資利用(貸付)件数	計画値		24	24	12	平成26年度事業開始
		実績値	件		14	12	
		達成度	%		58.3%	50.0%	
活動指標	② 新規融資利用(貸付)額	計画値		100,000	100,000	95,000	平成26年度事業開始
		実績値	千円		80,000	80,000	
		達成度	%		80.0%	80.0%	
成果指標	① 年度末融資利用(貸付)件数	計画値		24	24	38	平成26年度事業開始
		実績値	件		14	26	
		達成度	%		58.3%	108.3%	
成果指標	② 年度末融資利用(貸付)残高金額	計画値		100,000	100,000	180,000	平成26年度事業開始
		実績値	千円		64,124	110,692	
		達成度	%		64.1%	110.7%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	80,125	201,800	96,725	116,127	224,000	285,000	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他		80,125	201,800	95,000	114,000	220,000	280,000	
一般財源				1,725	2,127	4,000	5,000	
② 人件費(千円)	0	794	776	880				
職員人数(人)		0.10	0.11	0.11				
時間外勤務(時間)		19		40	融資制度:運転資金、設備資金1,000万円 利率:年1.5% 保証料:全額補給	融資制度:運転資金、設備資金1,000万円 利率:年1.5% 保証料:全額補給	融資制度:運転資金、設備資金1,000万円 利率:年1.5% 保証料:全額補給	備考
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	80,919	202,576	97,605				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度 新規融資 12件、年度末融資残額 110,692千円。
事業が抱える問題・課題等	周知不足が懸念される。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	低金利で融資することにより、中小企業創業者の事業資金、設備資金としての資金供給の円滑化を図り、市内の中小企業創業者の創業・発展に資することから必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市が、市内中小企業創業者の経営に要する資金を利用しやすい制度として創設することで、地域経済の発展と雇用の安定につなげる。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	県等の融資制度においては融資上限額は多いが金利、保証料は本市の制度が条件は有利であり、創業者の支援になっているので、成果は高いものとなっている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	近年、景気は上向いているが、中小企業者等融資利用者のニーズは、低利かつ安定した資金の供給である。本市の制度は創業者にとって有利な条件となっているため極めて有効である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	現状では市中金利や他市制度と比べて適正であるが、更に利用しやすくするために貸付金利等の見直しを行う必要がある。						
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし		

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	融資内容の見直しを行い、中小企業が利用しやすい環境をつくる。また、振興資金を利用しやすい制度として広報し、多くの市内中小企業に利用してもらうことで、地域経済の発展と雇用の安定につなげる。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	市内の創業者の資金供給を支援することにより、創業しやすい環境を整備することができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。